

## 第3章

# 調査結果活用協力校の取組

鳥取市立城北小学校  
米子市立加茂小学校

文部科学省総合教育政策室室長補佐  
(元埼玉県教育委員会義務教育課長)の  
指導を受け、鳥取市立城北小学校と米子  
市立加茂小学校が取り組んだ調査結果の  
分析と活用方法を掲載しています。

授業の中で、学力や非認知能力・学習  
方略をどのように育てていくか考察しま  
した。



## とっとり学力・学習状況調査の調査結果の分析と活用 ～鳥取市立城北小学校～

昨年度に引き続き、とっとり学力・学習状況調査結果活用協力校とし、文部科学省の大根田室長補佐に助言を受けながら、その分析と活用について取組を行った。

今年度は実施2年目ということで、児童の「伸び」を初めて把握できることから、主に帳票28、40、42の3つの帳票を活用し、学力の伸びと非認知能力や学習方略の変化について分析を行った。分析・活用にあたって3つの視点を定め、児童の個別の結果とともに学級・学年の結果の分析を行い、個別の児童への手立てを考えたり、学級経営に着目して効果のある取組を共有したりして、学校全体でとっとり学力・学習状況調査の分析結果を活用し、学力向上へとつなげる取組を行っている。

### 1 取組の概要

4/27 校内研修会

◆ワークショップ（目標分析、研究テーマの設定）

5/13 授業研修会（3年・算数）

6/25 授業研究会（6年・算数）

◆「学習方略」等を視点とした指導のポイント共有①

7/28、8/18 チーム会議（学年カリキュラムマネジメント/部会）

9/7 県教育委員会説明会

9/16 調査結果活用協力校連絡協議会（文部科学省・大根田室長補佐からの助言）

9/29 校内研修会

◆【事前9/22】資料配布、説明（データの見方、分析のポイント等）

◆（現・前）学年チームによる分析（個へのアプローチ・指導の振り返り）

10/1～ 個人票返却（面談）、後期の実践

◆指導のポイントの共有②⇒カリキュラム・マネジメント、後期の具体的な取組へ

### 2 分析・活用の取組（3つの視点をもとに）

【視点①『個の学び』】《主に「帳票40」を活用し、個別の指導・支援に生かす》

5・6年生は、昨年度からの学力レベルの伸びと非認知能力・学習方略の変化量に着目し、伸びや変化の状況から個別の児童の現状を把握し、その見立てと具体的な手立てを考察した。

◆5年生A児（昨年度からの指導・支援を継続して実施した例）

昨年度、作業方略の4つの項目が1点台であり、その他の項目の数値も低い傾向にあった児童である。昨年度の手立てを継続し、調査結果からその手立ての成果と課題について分析を行った。

	算数	主・対・深	柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	勤勉性
R2	5-A	3.8	1.8	2.5	1.5	3.0	1.5	1.8	2.8
R3	5-A	3.2	2.3	2.3	1.3	2.3	2.3	3.8	3.0

【担任の見立て（4年時）】

- ・学び方を工夫し、ねばり強く取り組む態度がなかなか見られない。
- ・アセスの学習的適応（学習方法、学習意欲）の得点が低い。

※アセス（ASSESS）：多様な背景を持つ子ども達の「学校適応感」を測定するために開発された尺度



【手立て（継続）⇒成果と課題】

- ・よりよい方法への支援（教師・学び合い）やステップアップ課題を提示。
- ⇒課題解決に、ねばり強く意欲的に取り組む姿が見られるようになった。
- ノートと自学を中心に主体的な学び方が身に付くようにしたい。

◆ 6年生B児（個別結果を見直して指導・支援を改善した例）

	算数	主・対・深	柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	自制心	学習意欲
R2	3—B	3. 3	4. 8	3. 8	3. 3	2. 8	3. 8	5. 0	5. 0	4. 2
R3	5—B	2. 8	2. 3	2. 0	1. 8	1. 0	3. 8	3. 8	3. 4	1. 8

【担任の見立て（5年⇔6年）】

- ・学力は伸びているのに、学習方略のマイナスが顕著である。
- ・わからないところを一人で抱え込む傾向がある。



【手立て（改善・引継）】

（現状）児童の問いを引き出し、間違いを大切にしている。  
 ⇒間違いを消さずにポイントを書き込んだり、ノートを用いながら積極的に友達と考えを交流したりする姿が見られるようになった。

【視点②『指導のポイント』】《主に「帳票42」を活用し、学級経営の改善に生かす》

現担任・前年度担任それぞれで5～6人のチームを作り、学年団で学級・学年の取組の分析を行った。分析結果から、どのようなポイントで指導を行うかを共有したり、改善すべきところ、継続して行っていくところの確認等を行った。また、管理職面談を実施することで、これまでの指導を振り返り、改善に向けて取り組んでいくひとつの契機とした。

◆ 6年（現6年のクラスの状況を、「帳票42」を活用して5年時担任が分析した例）

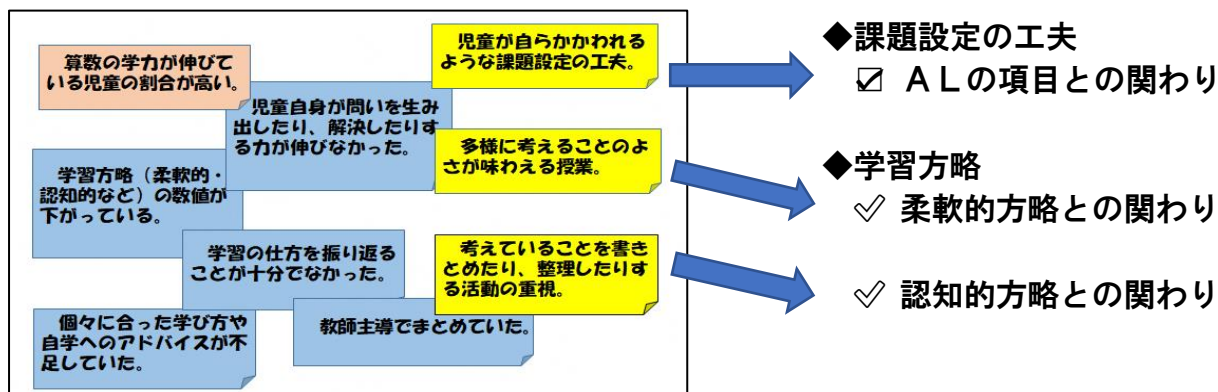
算数	学力伸率	児童割合	主・対・深	柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	自制心	学習意欲
クラス	4. 3	92. 6%	-0.1	-0.2	-0.3	0.0	-0.5	-0.3	-0.3	-1.6	-1.1
県	3. 1	81. 6%	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	-0.1	-1.5	-0.8

【担任の振り返り（&面談）】

- ・学力は伸びた（伸び率・伸びた児童の割合）が、学習方略は伸び悩んだ。  
 （学力の高い児童は方略の変化が小さい傾向）  
 ⇒児童自身が問いを生み出したり、主体的に解決したりする力をつける授業にしていくことが求められる。

◆ 現担任／前年度担任チームによる分析

「帳票40・42」を活用して、「現担任チーム」「前年度担任チーム」による分析を行った。分析を通して昨年度効果のあった取組や課題、現在の取組等について検証を行い、課題に対しての今後の取組や、重点的に指導していく項目等を確認し、共通理解をした。



【視点③『重点／取組』】 ≪「帳票28・40・42」を活用し、学校全体の学力向上に生かす≫

学校の研究教科である算数の学力向上に、非認知能力・学習方略の視点を加味し、調査結果の分析から課題と認識されている項目を、従来の授業づくりに加えて意識して指導できるような方法を模索した。

◆授業研究会（「学習方略」等を視点とした指導のポイントを共有する取組①）

(1) 5月授業研究（算数・3年）＊『学習方略』の視点から指導のポイントを抽出

昨年度12月に授業公開を行った授業者（研究主任）が、昨年度分析を行った「算数における指導のポイント」を踏まえて授業を行い、効果のあった取組の具体的な良さを全員で共有した。

≪算数における指導のポイント≫

<p><b>【柔軟的方略】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題や「めあて」を子どもとつくる</li> <li>・アプローチの選択・見直しを促す</li> <li>・多様な見方・考え方を大切にする</li> </ul>	<p><b>【認知的方略】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題把握で既習との違いを明確にする</li> <li>・既習事項と関係づける（問い、板書）</li> <li>・表現や「言葉」を高めながらまとめる（子ども同士、子どもと共に）</li> </ul>
---	--

(2) 6月授業研究（算数・6年）＊『学習方略』を学習指導案に位置づけ

学級の調査結果の分析から得られた学習方略における課題に対して、手立てを学習指導案に位置付けることで、教員が授業の中で学習方略を明確に意識して指導することができないかを検証した。また、調査結果から学習方略に課題のある児童を抽出児童として設定し、これまでの指導の成果を学習方略の視点から観察し、検証を行った。

形です。（縦×横）



縦 × 横  
は、  
= 円の半径  
= 円周の半分  
す。



- ・円をさらに細かく切って並べかえるとどうなるかを考えさせ、徐々に弧が直線に近づいていくことに気づけるようにする。（柔軟的方略）
- ・ホワイトボード上で図形を変形させた後、黒板を使って全体で共有する。
- ・全体で考えを出し合い、新たな考えを話し合ったり自分の考えを深めたりできるように、友達の説明を聞きながら表現を高めたり、既習との関連を考えたりするように声をかける。（認知的方略）



◆抽出児童（6年C児）の個別結果の分析と観察

学力の伸びはあるが、課題のある柔軟的方略と作業方略に着目して授業での学びの様子を観察した。

	算数	主・対・深	柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	自制心	学習意欲
R2	6—C	3. 9	1. 8	2. 5	1. 5	2. 8	3. 3	4. 8	3. 3	3. 9
R3	9—A	3. 7	2. 5	2. 3	2. 0	2. 0	3. 3	3. 0	2. 5	1. 5

学力は非常に伸びたが、学習方略の数値が低く、学習意欲が大幅に下がっている。5年時担任は、学び合いの場面で自分の考えを持つことを指導しており、6年担任は、気づいたことや考えたことをノートに書き留めることが増えたことを見取っていることから、今後は、授業をもっと主体的・対話的で深い学び（課題発見型）に近づけていくことが、非認知能力・学習方略を高めるのに必要であることを共通認識した。

◆自主学習に向けた取組（『学習方略』『非認知能力』の観点から）

（1）校区の共通実践に『学習方略』を位置づけ

中学校区の共通実践の柱に学習方略を結び付けることで、児童生徒・保護者・学校の共通認識として学習方略を活用した。



北中校区の共通実践

家庭における「自主的な学習の習慣化」で確かな学力を！

- 自分で計画を立てて学習しよう。
- 学校の宿題・課題をきちんとしよう。
- 学校の授業の予習・復習をしよう。
- 間違えたところや苦手なところをもう一度しよう。
- 発展的な学習にも挑戦しよう。



- 【プランニング】
- 【勤勉性】【自制心】
- 【認知・作業】
- 【柔軟・作業】【やり抜く力】
- 【AL(課題発見)】【認知】
- 【自己効力感】

（2）自主学習を高める取組

年度当初に、「自主学習の手引き」を活用して自主学習のやり方についてガイダンスを行っている。また、4年から6年では学年ごとの「自学コーナー」を設置し、優れた取組を紹介している。その掲示から児童同士の相互評価が生まれ、さらなる学び合いへと発展している。



「手引き」の一部

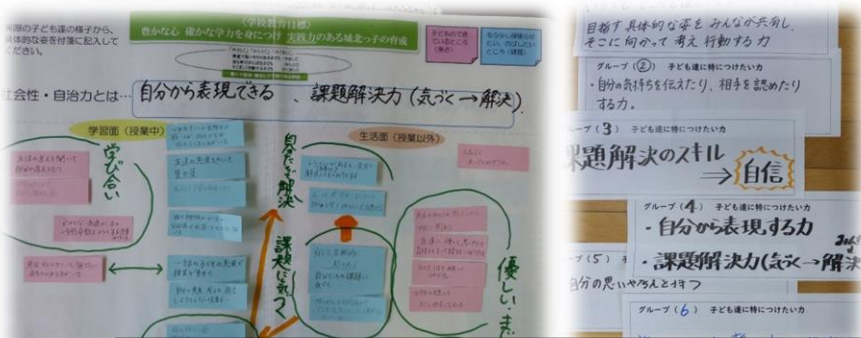


自学コーナー

◆カリキュラム・マネジメントの取組（『学習方略』『非認知能力』の観点から）

（1）4月校内研修会（ワークショップ：目標分析、研究テーマの設定）

年度当初の校内研修会で、今年度の目標である「実践力」の具体について、非認知能力・学習方略に関連付けながら分析し、研究テーマの設定を行った。




《学習方略》関連が高いと思われる項目  
AL(課題発見・解決)、柔軟的方略、認知的方略、作業方略  
《非認知能力》関連が高いと思われる項目  
やり抜く力、自制心、自己効力感

## (2) 学年・学級カリキュラム（経営構想）の取組


4月のワークショップで設定したテーマを反映し、学年・学級カリキュラムを作成した。作成したカリキュラムは、夏休みのチーム会議で学年団で見直しを行い、現状に合わせて更新をした。学級経営案とセットにして経営構想を立てる際、非認知能力・学習方略の観点を取り入れている。カリキュラムとテーマ「自ら課題を発見し、解決に向けて主体的に学び合う児童の育成」を踏まえた実践研究を学年・学級経営の2本柱とし、全教職員で共通した実践を行っている。

2021年度 第6学年1組 学級経営案 担任【 】

学校の教育目標	豊かな心 確かな学力を身につけ 意欲のある 確かな学力の育成 意欲で思いやりのある子どもになり、自らがんばる子どもになり、たくましく行動する子どもになる。	6年生の教育目標									
【授業の実態】 ※プラス面、マイナス面ともに記入	【学級経営方針/具体的な取組】										
個別の指導計画: ●●●●											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
算数	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算	1. 小数のわり算 2. 小数のかけ算 3. 小数のたし算 4. 小数のひき算 5. 小数のわり算 6. 小数のかけ算 7. 小数のたし算 8. 小数のひき算
国語	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき	1. 漢字の読みかき 2. 漢字の書きかき 3. 漢字の読みかき 4. 漢字の書きかき 5. 漢字の読みかき 6. 漢字の書きかき 7. 漢字の読みかき 8. 漢字の書きかき
英語	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき	1. 英語の読みかき 2. 英語の書きかき 3. 英語の読みかき 4. 英語の書きかき 5. 英語の読みかき 6. 英語の書きかき 7. 英語の読みかき 8. 英語の書きかき
総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間	1. 総合的な学習の時間 2. 総合的な学習の時間 3. 総合的な学習の時間 4. 総合的な学習の時間 5. 総合的な学習の時間 6. 総合的な学習の時間 7. 総合的な学習の時間 8. 総合的な学習の時間
特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動	1. 特別活動 2. 特別活動 3. 特別活動 4. 特別活動 5. 特別活動 6. 特別活動 7. 特別活動 8. 特別活動



算数



特別活動

## 3 考察

今年度は調査2年目で、学力の伸びと非認知能力・学習方略の変化を初めて見る事ができた。学校全体の研究にとりとり学力・学習状況調査の結果と活用を関連付けることで、これまで曖昧だった学力の実態や、学習を下支えする能力の状況について、データの裏付けを基に共有することができるようになり、研究を進めていく上での成果と課題の分析に役立てることができた。現担任・前年度担任チームによる分析を行う際には、それぞれの学級の伸び具合から「どのような指導が効果があったと思われるか」ということを出し合って協議したり、どの児童が伸びているかを数値を参考に分析し合ったりした。感覚的な話ではなく、学力と非認知能力・学習方略のデータを媒体として話ができることで客観性が高まり、児童の見取りの精度が上がることや本質的な話がしやすくなることを実感できた。また、帳票42への書き込みをもとに必要に応じて管理職面談を実施したところ、児童の実態把握や指導のポイントについての理解が深まり、教員が自己の実践を振り返ったり、管理職等が指導力向上に向けて支援を行ったりする際にも有効なツールとして機能する可能性も垣間見えた。

今後は、個の児童の成長や変化を、学力と非認知能力・学習方略の視点で追跡していき、実践の効果や教育効果の高い取組の共通点等について検証し、幅広くデータを集めていきたい。データは絶対的なものではなく、実践とデータを行きつ戻りつしながら対話の材料とし、教員の指導力の向上や学力向上に係る取組を充実させることにつなげていきたい。

## とっとり学力・学習状況調査の調査結果の分析と活用 ～米子市立加茂小学校～

今年度から、とっとり学力・学習状況調査結果活用協力校とし、文部科学省の大根田室長補佐に助言を受けながら、その分析と活用について取組を行った。

実施自体は2年目ということで、昨年度の取組を踏まえて児童の「伸び」を把握し、主に帳票28、40、42の3つの帳票を活用して学力の伸びと非認知能力や学習方略の変化について分析を行った。分析・活用にあたっては、主に「旧学年」と「新学年」で学年団としての分析を行い、個別の児童への手立てを考えたり、学級経営に着目して効果のある取組を共有したりして、学校全体でとっとり学力・学習状況調査の分析結果を活用し、学力向上へとつなげる取組を行っている。

### 1 取組の概要

- 9 / 2 分析説明会（オンライン）
- 9 / 6 校内研修会①
  - ◆調査の目的、本校児童の概要説明、「帳票40」を用いた学級別傾向分析
- 9 / 8 県教育委員会説明会
- 9 / 9 調査分析方法説明会（米子市）
- 9 / 15 調査結果活用協力校連絡協議会（文部科学省の大根田室長補佐からの助言）
- 10 / 5 旧学年分析（旧4年団、旧5年団）＊10 / 14までの任意の日
- 10 / 12 現学年分析（現4年団、現5年団、現6年団）＊10 / 20までの任意の日
- 10月～ 改善に向けた取組の実施
- 12月 校内研修会②
  - ◆各学年改善に向けた取組について
- 1月下旬 校内研修会③
  - ◆改善策について分析・報告



加茂小自慢のひとつ、靴揃え！

### 2 分析・活用の取組

#### (1) 旧学年分析◀「帳票40」を活用▶

##### ①昨年度改善取組の確認

昨年度に各担任が設定した「改善に向けた取組」を確認した。特に昨年度伸びが大きかった学級に注目して、効果が高かったと思われる取組について分析を行った。昨年度4年生では柔軟的方略の数値が高かったが、担任からは、児童自身が自分の学習方法を振り返ることや、授業の中で問題を解いたら間違いを直すことを徹底した、といった実践が出された。

##### ②「帳票40」を基にした分析

###### ◆個々の児童

○昨年度からの学力の伸びを確認し、特に伸びの小さい児童を確認する。

・「学力の伸び」が1以下の児童をチェックする。

○学習方略・非認知能力が低い児童を確認する。

・「学力の伸び」と「学習方略・非認知能力」の変化量を合わせて個々の状況を見取る。

・数値が「2」以下の項目が多い児童をチェックする。

○チェックした児童をリストアップする。

###### ◆旧学級の取組の「成果」を振り返る

○昨年度立てた「改善策」と旧学級児童の「学力の伸び」「学習方略・非認知能力」の推移を比べる。

《個々の児童分析の視点》

- ア 「学力の伸び」はあるが、「学習方略・非認知能力」は低い。  
→これから先、学力が低下する可能性あり。学習に向かう姿勢の修正が必要。
- イ 「学力の伸び」「学習方略・非認知能力」がともに低い。  
→学習方法、学習に向かう姿勢の修正で、学力が伸びる可能性あり。
- ウ 「学習方略・非認知能力」は高いが、「学力の伸び」が小さい。  
→今後、学力レベルが向上する可能性あり。

「児童分析の視点」  
をもとに分類

\*旧担任が「分析の視点」をもとにリストアップした児童の一覧（例）

番号	氏名	状況										タイプ
		国語 レベル	算数 レベル	主・対・ 深	柔軟的 方略	プランニ ング方略	作業 方略	人的リソ ース方略	認知的 方略	努力調 整方略	勤勉性	
1	A	7	5	-0.3	-0.5	-2.5	-2.3	1.0	-0.3	0.3	-1.8	ア
3	B	-1	-3	-0.9	-0.3	-1.0	-0.8	0.3	-0.5	0.0	-1.1	イ
4	C	0	1	1.4	0.8	1.8	1.0	1.3	1.5	0.8	-0.5	ウ
12	D	-8	-4	0.4	2.5	0.8	0.5	0.5	2.0	0.8	-1.2	ウ
13	E	-2	1	0.7	-0.8	-0.3	0.5	1.3	-0.5	0.0	-1.5	ウ

(2) 現学年分析《「帳票28・40」を活用》

①昨年度改善取組の確認

昨年度に各担任が設定した「改善に向けた取組」と昨年度担任が分析した「帳票40」を見て、改善の取組とその成果について確認した。



②「帳票28」をもとに分析

※学力の伸びと学力の状況について、学年全体の概要をつかむ。

○学力の伸び幅の特徴を確認する。

- ・伸び幅が県平均よりも大きい学年や教科を見つける。

○学力レベルの特徴を確認する。

- ・学力が県平均を上回っている教科を見つける。

○学力層別の伸びの状況を確認する。

- ・傾きが大きい学力層を見つける。
- ・県平均より傾きが大きい学年や教科を見つける。



③「帳票40」をもとに分析

◆個々の児童 ※旧学年担任によりピックアップ済み

◆学級

○学習方略、非認知能力、主体的・対話的で深い学びの実施状況を確認する。

- ・平均値が県平均、全国平均を0.3以上上回っている項目を確認
- ・平均値が4.0以上の項目を確認
- ・担任として課題と感じる学習方略、非認知能力、主体的・対話的で深い学びの項目を確認  
(学級の状況を考慮に入れて)



④改善策の設定

◆個の児童

○分析の結果、担任の見立てとギャップがあった児童を1～2名ピックアップし、該当児童に対する対応策を考える。

◆学級

- 「昨年度の改善策とその成果」「今年度の学級の状況」をもとに改善策を考える。
  - ・国語、算数の学習で、特に重点的・継続的に取り組む方策を立てる。
  - ・「非認知能力・学習方略」から伸ばしたい力を上げ、そのための方策を立てる。

⑤改善策を記載するワークシートの取組

現学年での分析結果を受けて、各学級担任が改善策をワークシートに記入し、手立ての明確化と可視化を図っている。ワークシートには、個別の児童の分析と改善策を記入する項目と、学級全体の分析と改善策を記入する項目を設定し、実施することがより明確に具体的に分かりやすくなるような工夫がなされている。

\*改善策を記載するワークシート（現担任が記入）

令和3年度 とっとり学調分析をふまえた改善 年 組

1. 個別の児童 (5年, 6年)

児童名	学力レベルの伸び		AL	R2からの伸び					非認知能力		
	国語の伸び	算数の伸び		学習方略					自制心	学習意欲(算数)	
				柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整		
○担任の分析			○具体的な手立て								
○結果と考察 (1月末)											

2. 学級の取り組み

本学級 米子市 県	学力レベル		AL	学習方略					非認知能力		
	国語	算数		柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	動機性	
○担任の分析			○改善プラン 伸ばしたい力								
○結果と考察 (1月末)											

個別の児童

学級

\*現担任が改善策を記載したワークシート（個別の児童の例）

児童名	学力レベルの伸び		AL	R2からの伸び					非認知能力		
	国語の伸び	算数の伸び		学習方略					自制心	学習意欲(算数)	
				柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整		
	7A→9A	8C→9A	-0.9	-1.8	-1.5	-0.3	1.0	-1.5	0.0	-2.1	-0.4
○担任の分析			○具体的な手立て								
国語も算数も学力レベルは伸びている。非認知能力の自制心が低下している。スピード感を求められる場面で話を聞き漏らしたり聞いたことを思い出せないことがある。			話したり聞いたり書いたりする場面でスピード感を持たせることでさらに学力レベルが上がると思われる。聞くときにメモをとったり速読の力を身に付けたりすることでも力を伸ばすことができると考える。								
○中間の状況 (11月30日)											
授業中アウトプットを意識し、手を挙げて発表することが多くなった。発表するためには、話をしっかり聞くことやスピード感のある反応が必要なので、話したり聞いたりする場面では改善が見られる。成績は安定している。											

\*現担任が改善策を記載したワークシート（学級の例）

	学力レベル		AL	学習方略						非認知能力	
	国語	算数		柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	勤勉性	
本学級	6-B	6-B	4.3	4.1	4.1	4.0	3.2	4.1	4.2	2.7	
米子市	6-B	6-C	4.0	3.4	3.5	3.4	3.0	3.7	3.9	2.9	
県	6-A	6-C	3.9	3.3	3.4	3.3	3.0	3.7	3.9	3.0	

○担任の分析	○改善プラン	伸ばしたい力	勤勉性
<ul style="list-style-type: none"> <li>能力の高い児童が勤勉性が低い傾向にある。</li> <li>すぐ人を頼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画を立て、学びのふり返りを行う。</li> <li>特に勤勉性を伸ばすため、「自分に合った学び」で無理なく取り組み、やり切る力を高める指導を行う。</li> <li>国語の語句、語法の練習に取り組む。</li> </ul>		

○中間の状況（11月30日）

現在テスト週間学習を実施中。ただやるだけでなく、定期的に前日の学びの内容を友達と交流させる機会をもっている。また「コンプリートシート」で「学習に向かえば1枚、やり切れれば1枚」というふうに自己の努力を可視化する手だてを実施中。  
→今のところ、1人1人が自分の計画に沿ってやる気を持って継続中。

（3）学級・学年通信を活用した家庭との連携

児童の学習に向かう力を付けるために、非認知能力・学習方略の視点を踏まえて学級・学年通信で家庭にも発信をしている。特に学期末のテスト週間前には、自分で見通しを持って計画的に学習を進めるための手立てを学級・学年通信で家庭にもお知らせし、自分の学習状況や理解度を把握しながら学ぶ力を養おうと取り組んでいる。

米子市立加茂小学校  
第5学年 学年通信  
2021.11

いよいよ、2学期のテスト週間がやってきました。1学期のテスト週間後の懇談では、保護者の皆様より「将来を、中学校生活でのテストを懸念した、良い学習の習慣作りになった。」「個人のペースで学習内容を選択することができてよかった。」などの感想をいただきました。

また、子ども達からは「勉強しているつもりでも、意外穴があることがテスト結果から分かったから、次回は広く深くを懸念して頑張りたい。」「最初は良いペースだったけど、最後まで粘り強くできなかった。反省して、次回に生かしたい。」などの振り返りもありました。

前回の良かった点はそのままに、反省・改善点を検討し、一人一人の相談に乗りながら、「学び方」について考えたいと思います。

例：お子さんと相談された上で、児童が自分で考えて学習を行う「テスト週間学習」ではなく、**学習の目標（漢字や計算単元）を中心の目標になります）をご希望されるご家庭がありましたら、ご返信欄を添って担任までお知らせ下さい。**

---

前回のテスト週間での子ども達の学習内容を分析すると、おおよそ3パターンに分けられるようです。今回は「個に合わせたペースで、自分の学びの力を高める」という思いで、パターン別に「お好みの目標設定」と「学習方法」を作ってみました。子ども達には、「本家で保護者の方法と、どのパターンで頑張っているか相談してごらん。」と声をかけましたので、相談に乗っていただければありがたいです。最終的に子どもが決断したパターンに合わせて、テスト学習計画内容のサポートをしたいと思っております。

**【1学期のパターン】**

**Aパターン**  
1学期のテスト週間で、時間を短くせず、とにかく頑張ってきたあなた

忙しくなり、学習時間も限られる中学校生活に向けて「精進した内容」の学習計画を立てよう。「1日60分」の時間を守って、限られた時間で最も効率的な学習ができる力を身につけることを目標にしてみよう。

**Bパターン**  
1学期のテスト週間で、最後まで頑張ってきたが、途中で疲れてしまったあなた

長い期間でも、息切れをせず、目標を見失わないように、1日の学習内容を「ルーティン」化してみよう。具体的には、「1教科の内容は少な〜く、一日に複数の教科をこなす」こと。自分が飽きないための工夫を。

**Cパターン**  
1学期のテスト週間で、計画を立てたものの、それを実行することができなかったあなた

学習習慣を定着させるためにも、「これだけはやる」と決めた内容は必ずやり切るよう。中学校では日々の学習と復習が、テスト週間の自分を楽にさせてくれます。中学校で学習する前に、今習慣を身につけてよう。

**【参考にする学習方法】**

裏のチェック表にある内容を軽く一度読んだら、家庭のワークやドリルをやってみてもよいかもかもしれません。時間が限られています。その中で「できる分」だけやるトレーニングを！

漢字は1日20分までに抑え（1ドリル分・半ページ）毎日続けよう。算数の「もつと練習」は1日1〜2単元行い、できなかったところを計どなどでカバー。社会と理科は、テスト前に集中して行うと良いかも。

「チェック表」の中でも、「これだけは」と思うものを先生と一緒に考えて、計画表に入れよう。1日ページずつでも、毎日こなせば必ず力になります。頑張ろう！

《例》5年生の学年通信では、2学期のテスト週間前に、前回のテスト週間での児童の学習の様子を3つのパターンに分け、それぞれにおすすめの目標設定と学習方法について発信している。

テスト週間テスト範囲（「たしかめよう」は2学期のまとめテストです）

国語	算数	理科	社会
反対の立場を書きえて意見文を書こう	割合	割合	たしかめよう
漢字のまとめ②	たしかめよう	たしかめよう	たしかめよう
たしかめよう	たしかめよう	たしかめよう	たしかめよう
理科	社会	社会	社会
まとめテスト	1年生前を返る輸送〜これからの工業生産と	たしかめよう	たしかめよう
2学期のスピーキングテスト	家庭科/ミソシジ/調理実習ペーパーテスト	音楽 / 歌/リコーダー/ペーパーテスト	音楽 / 歌/リコーダー/ペーパーテスト
単独・表現のたしかめ②	たしかめよう	たしかめよう	たしかめよう

テスト範囲学習チェック表  
…テスト学習予定表に書いた項目はに「チェック」を入れよう。「学習もしない」ようにしよう。(外国語は授業で使った英語表現のチェックと、アルファベットを学習してください)

国語	算数	理科	社会
○かかかんジョウトテスト <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10	○かかかんジョウトテスト <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 ○漢字/ルビ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 ○もつと練習 P264 算数 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 P265 ~ 266 分数(1) <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 P267 ~ 269 面積 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 P270 平均とその利用 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 P271 ~ 272 単位換算 P273 ~ 275 割合 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12	○教科書「まとめノート」 <input type="checkbox"/> 14 花から家へ <input type="checkbox"/> 15 雲と天気の変化 <input type="checkbox"/> 16 111 流れる水の〜 <input type="checkbox"/> 17 29. ぶらぶらの食料	○資料集作業簿 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 17 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 19 <input type="checkbox"/> 20 ○資料集まとめ <input type="checkbox"/> 53 <input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 57 <input type="checkbox"/> 61 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 78 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 183 <input type="checkbox"/> 112 流れる水の〜 <input type="checkbox"/> 81 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 91 <input type="checkbox"/> 99 <input type="checkbox"/> 101 <input type="checkbox"/> 103 <input type="checkbox"/> 107

漢字は基本毎日です。図鑑読みもテスト前に一度は読んでもかまいません。

①かかかんジョウトテスト→②もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

③かかかんジョウトテスト→④もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑤かかかんジョウトテスト→⑥もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑦かかかんジョウトテスト→⑧もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑧かかかんジョウトテスト→⑨もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑨かかかんジョウトテスト→⑩もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑩かかかんジョウトテスト→⑪もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑪かかかんジョウトテスト→⑫もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑫かかかんジョウトテスト→⑬もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑬かかかんジョウトテスト→⑭もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑭かかかんジョウトテスト→⑮もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑮かかかんジョウトテスト→⑯もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑯かかかんジョウトテスト→⑰もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑰かかかんジョウトテスト→⑱もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑱かかかんジョウトテスト→⑲もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑲かかかんジョウトテスト→⑳もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

⑳かかかんジョウトテスト→㉑もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉑かかかんジョウトテスト→㉒もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉒かかかんジョウトテスト→㉓もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉓かかかんジョウトテスト→㉔もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉔かかかんジョウトテスト→㉕もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉕かかかんジョウトテスト→㉖もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉖かかかんジョウトテスト→㉗もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉗かかかんジョウトテスト→㉘もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉘かかかんジョウトテスト→㉙もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉙かかかんジョウトテスト→㉚もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉚かかかんジョウトテスト→㉛もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉛かかかんジョウトテスト→㉜もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉜かかかんジョウトテスト→㉝もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉝かかかんジョウトテスト→㉞もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉞かかかんジョウトテスト→㉟もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㉟かかかんジョウトテスト→㊱もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊱かかかんジョウトテスト→㊲もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊲かかかんジョウトテスト→㊳もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊳かかかんジョウトテスト→㊴もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊴かかかんジョウトテスト→㊵もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊵かかかんジョウトテスト→㊶もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊶かかかんジョウトテスト→㊷もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊷かかかんジョウトテスト→㊸もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊸かかかんジョウトテスト→㊹もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊹かかかんジョウトテスト→㊺もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊺かかかんジョウトテスト→㊻もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊻かかかんジョウトテスト→㊼もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊼かかかんジョウトテスト→㊽もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊽かかかんジョウトテスト→㊾もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊾かかかんジョウトテスト→㊿もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

㊿かかかんジョウトテスト→1もつと練習の順に取り組みてください。プリントやワークで生じる問題に載れておきたいところです。

「テスト範囲の学習チェック表」を記載し、チェックリスト形式で学習の見通しと進捗状況が分かるような手立てを施している。家庭でも子どもの学習の状況を把握しながら学習の支援ができるように工夫されている。

## 学習計画表

家庭学習予定表5-3 例						
日	テスト予定・自分の予定	国語	算数	理科	社会	その他
27日 (水)						
28日 (木)						
29日 (金)						
30日 (土)						
31日 (日)						
1日 (月)	■【テスト】					
2日 (火)	外【おしよめテスト】 ■【おためテスト】					
3日 (水)	■【おはりのおまじり】					
4日 (木)						
5日 (金)						
6日 (土)	■【漢字のおまじり】					
7日 (日)						
8日 (月)	外【おしよめテスト】 外【算数基礎のおしよめ】					
9日 (火)	■【理科の基礎おまじり】 註：口算基礎のおまじり					
10日 (水)	■【算数の基礎おまじり】					
11日 (木)	■【おためテスト】 ■【おはりのおまじり】					
12日 (金)	■【おしよめテスト】					

児童には「学習計画表」を使ってテスト範囲の学習を自分で計画的に進められるような指導と支援を行っている。見通しを持って自分の学習状況を把握しながら計画的に学習を進める力は、主体的に学びに向かう力を育てる上でも重要である。「プランニング方略」等の学習方略と結びつけて実施することで、児童や教員が、どんな力を付けるために行っているのか、取組の意図を明確に意識して取り組むことができていると考えられる。

### 3 考察

今年度は調査2年目ということで、昨年度の取組を踏まえて学力の伸びと非認知能力・学習方略の変化を見ることができた。児童や学級の実態や特徴をとったり学調の数値から読み取る取り組みを通して、個の児童や学級に対する向上、改善に向けた取り組みの視点が明確になり、それを学年団で共有することで、ぶれることなく取組を進めることができた。最初は数値をどのように見てよいか分からない状態であったが、丁寧に説明することで理解が深まり、データの持つ説得力の高さも相まって、納得感を持って取組を進めることができた。

また、学力レベルはもちろん、学習方略・非認知能力にも視点をおいた取組を進めることで、児童の1年後、数年後の「理想の姿」に向けた長期的見通しに基づいた取組を進めることができた。基本となるのはやはり学級経営の確かさであり、より精度の高い児童の見取りに調査結果を活用することが、子どものために労を惜しまぬ教員集団を形成するためにも必要であると感じている。

今後は、個人だけでなく学級や学年で取り組んでいるかという視点を持ちながら、「よい成果を挙げている取組」を、学年団だけでなく学校全体で共有し、授業はもちろん、学級経営の質的向上、深化を図っていきたい。学校教育目標である「自ら考え 共に学び 心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を目指し、子どもたちが、自分に自信を持って自分の意見を発信できるように指導をしていきたい。